

三大学公開シンポジウム

パプアニューギニア 民族誌から探る 縄文社会



大隈タワー 10階125記念室では、
『埼玉県鶴ヶ島市寄贈オセアニア民族造形美術品展
—あらわれたる霊のかたち—』
を開催中です（10:00～18:00、日曜閉室）。
併せてお立ち寄りください。

主催：早稲田大学考古学研究室、先史考古学研究所
共催：南山大学人類学博物館、天理大学参考館
協賛：早稲田大学文学学術院、
早稲田大学文化推進部文化企画課、
早稲田大学會津八一記念博物館

入場無料・事前申込不要
どなたでもご自由にご来聴いただけます。
直接会場までお越しください。

お問い合わせ
早稲田大学考古学研究室（久保田慎三）
Tel：03-5286-3646
早稲田大学會津八一記念博物館（中門亮太）
Tel：03-3203-6127

2012年2月25日（土）

13:00～17:10（12:30開場）

会場：早稲田大学大隈記念講堂小講堂

司会：吉田裕彦（天理大学参考館）

13:00 開会の挨拶 浦野正樹（早稲田大学文学学術院長）

基調報告

13:10 パプアニューギニアの土器製作民族誌から学ぶ
高橋龍三郎（早稲田大学文学学術院教授）

研究発表

14:10 パプアニューギニアの石斧
—南山大学人類学博物館所蔵民族誌資料の考古学的研究—
黒沢浩（南山大学人文学部准教授）
14:50 遺体を巡る争い
—パプアニューギニア・トーライ社会における家族とクランの対立—
小坂恵敬（オーストラリア国立大学博士課程）
15:30 休憩
15:50 ミルンバイ州ワリ島の土器製作の民族誌
中門亮太（早稲田大学會津八一記念博物館助手）
16:30 縄文時代の土器生産に関する事例研究
山本孝司（東京都埋蔵文化財センター）

2012年2月26日（日）

9:30～16:10（9:00開場）

会場：早稲田大学小野記念講堂

司会：吉田裕彦（天理大学参考館）

研究報告

9:30 イーストケープ地方の土器生産と交易
中門亮太（早稲田大学會津八一記念博物館助手）
10:10 2011年度セビック川流域における民族考古学的調査報告
—儀礼と組織—
平原信崇・岩井聖吾（早稲田大学大学院文学研究科修士課程）
10:50 休憩
11:10 亀ヶ岡式土器の分布と遠距離交易
小林圭一（山形県埋蔵文化財センター）
11:50 アイボム村の土器製作
井出浩正（東京国立博物館）
12:30 昼食

総括講演

13:30 土器製作の民族誌
—技術的選択と技術移転に関する近年の学史的動向から—
後藤明（南山大学人文学部教授）
14:30 パネルディスカッション
16:00 閉会の挨拶
岡内三眞（早稲田大学文学学術院教授）